



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健

学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijishu/wuzakkou/index.htm>

テニスコート横“雑木林”再生の試み

～地域ボランティアの皆さんによる教育環境整備の取り組み～

「昔々あるとこに、お爺さんとお婆さんがおってな、お爺さんは、山へしば刈りに、お婆さんは川に洗濯に…」、これは日本昔話の桃太郎の書き出しのフレーズですが、ここに出てくる「しば刈り」は、芝生（しばふ）の刈込作業のことではありません。雑木林の下に生えている「低木の刈り取り」のことで、刈り取った木は蒔きなどに利用しました。里山にはコナラやクヌギ、アカマツなど薪や炭の原料になる木々があり、それらを雑木林と呼び、落ち葉は畑の堆肥にするなど、人々の生活や農業には欠かせない場所でした。



校庭の整地作業時に残された雑木林

清瀬五中の敷地内に残された雑木林 ～ R7 年には倒木も… ～

本校の創立にあたり、豊かな清瀬の自然を校地に取り入れて、体験活動の場にしようとの理念のもと、テニスコート南側の一部は、隣接する雑木林と続くような形で雑木林が残され、コートの境には楓などが数本植えられて、すくすくと育ったようです。

雑木林は下草刈りや枝払い、定期的な伐採を繰り返し、生活に利用しながら育てていく半自然林です。伐採しても切り株からは新芽が伸び（萌芽）、20年程で元に戻りますが、人の手が入らなくなると、木々が密生して暗い林になり、新芽が育たず、植生が暗い場所でも生える草木だけになり、衰退してしまいます。

昨年9月に台風15号が通過した大雨の日、一本の木が倒れてしまいました。剪定業者さんに木々の点検をしてもらい、45年ぶりに数本を伐採してもらいました。おかげで暗かった雑木林の中にも、光が入るようになり、切り株には新芽が出ています。（関連記事：R7 ひまわりノ畑 12月ノ3号）

近年、放置された雑木林の荒廃が社会問題になっており、学校近隣の雑木林でも、手入れのための伐採などが進められているようです。



萌芽

“雑木林”の「しば刈り」を有難うございます！

開拓団 (学校支援本部)

校庭の南側に飛びでた「ひまわり農園」の場所は、その昔、通称「100坪」と呼ばれ、開校当時は、飯盒炊さんなどの体験学習の場として活用されていたようです。そして近年になり、その横の土地も、地主さんのご厚意により、教育活動の場として利用させて頂けることとなりました。工事の残土が積み上がり、荒地になっていた場所ですが、学校支援本部の方々を中心に、保護者や地域の方々にボランティア参加を呼び掛けて、立ち上げて下さった「開拓団」の皆さんによる整備作業が一昨年より始まりました。まさに開墾といえる事業なので、これから何年もかけての作業になりそうですが、将来、小中連携を進める十小や地域の児童の皆さん、地域の方々に楽しんでもらえるような場所になると素敵だと思います。（関連記事：R7 ひまわりノ畑 5月ノ2号）

そして先日の6/11(木)の午前中に、その開拓団の方々が、雑木林の「しば刈り」作業をして下さりました。笹や下草が生い茂り、荒れていた地面が整備され、日が差し込み、人が中に入れるようになりました。ありがとうございます。雑木林の地面は学校敷地内のどの場所よりもふかふかな腐葉土で、土中の生き物観察には良さそうです。

そして「五中の雑木林」と「開拓中の土地」は、ちょうど塀が途切れており、将来は、一続きの場所としても利用ができそうです。このように、地域の皆さんのゆっくりと、息の長い活動に支えられている清瀬五中は、いつまでも未来へ続いていく学校だと、地域の皆さんの姿を見て感じます。



開拓団の皆さん

放課後自習室 6/10(水)～16(火) 利用率 28%

昨年に続き、学校支援本部の方々が中心となって、定期考査期間に放課後の「自習室」が開室されました。3年生のみ実施の1学期中間考査では3日間でしたが、今回は、6/10(水)から5日間の開室でして頂きました。自習形式ですが、友達同士での教え合いなども大丈夫で、毎回ではありませんが、学習支援の大学生の方も来て下さるので、質問をしたり、わからないところを教えてもらうこともできます。今回は、明治薬科大学と卒業生の計6名のボランティア学生さんに協力頂きました。ありがとうございます。

今回の来室延べ人数は154人、利用した生徒は74名で、生徒の利用率は28%でした。がんばっています。2・3学期の定期考査期間にも開室を予定しています。大学生の方には、遠慮せずに、どんどん質問してかまいません。地域の皆さんも、五中生の学習を応援してくださっています。ありがとうございます。

日にち	6/10(水)	6/11(木)	6/12(金)	6/15(月)	6/16(火)	合計
利用者数(人)	51	32	31	23	17	154



交通安全教室 ～正しい自転車の交通ルール～ (1年生) 6/12(金)

6月12日(金)の6時間目に自動車学校の先生を講師に招いて、自転車の乗り方についての交通安全教室を行いました。交通ルールや正しい走行規則、交通事故に合わないための知識やポイントについての講義を受けました。自転車事故がもっとも多い年齢が10代で、特に中学生～高校生だと言われ、交差点での出会いがしらの事故、歩行者との接触事故が多いそうです。今年の4月1日から法改正で、自転車の交通違反に対する対応が厳しくなりました。反則金の適応は16歳からですが、だから平気という訳ではなく、事故に合って痛い思いをするのは結局自分ですので、ルールを守ることを心がけてください。

大切なポイントは「①車道が原則、左側を通行(歩道は歩行者優先)、②交差点は信号と一時停止を守って安全確認、③ヘルメットの着用(努力義務)、④スマホのながら運転や、傘さし片手運転などはしない。」です。



「和の心」講演会 (1年生 道徳) 6/16(火)

和食や和菓子、和室など日本を表す際に「和(わ)」という言葉を使いますが、それは何故でしょうか? 和という言葉が持つ意味が、きっと日本の伝統や文化の中で育った私達が持つ価値観に合っているからかもしれません。

6/16(火)に、日本舞踊家であり、日本の伝統文化の伝道をライフワークとされている花柳琴臣氏をお招きして、挨拶や所作、何気ない習慣の中にある日本人の考え方や心情についてのお話を頂きました。所作のご指導も頂きながら、「揃える・整える」ことの意味や価値、「場やモノ」に対する「敬意・感謝」の思い、「挨拶」に込める心、「間」や「姿勢」が集中力を生むことなど、生活を向上させるヒントを沢山頂きました。

サッカー・ワールドカップで、日本チームの整頓されたロッカー室の様子が話題になるのは毎回のことですが、私達にとっては「当たり前」のことが世界の方々に驚かれています。どうやら、多様性や個性の伸長といったものの基盤となるのは、日本人の持つ「和の心」なのかもしれません。



■清瀬五中生活躍のご紹介

【テニス部(清瀬市部活動拠点校)】

第52回東京都中学校第9ブロック総合体育大会予選 男子団体 第5位

●第65回 令和8年度 東京都中学校夏季選手権大会 男子団体戦 出場権獲得
※男子個人戦に続き、団体戦での出場権を獲得しました。

●令和8年度 東京都多摩地区中学校テニス大会 女子団体戦 出場権獲得

【剣道】

令和8年度第59回清瀬市少年スポーツ交流大会 剣道大会

中学生の部 優勝 1学年生徒
第3位 1学年生徒

団体戦の部 準優勝



※家庭配布版では氏名をご紹介します。